

淑徳四代



初代 河合志づ子さん
愛知淑徳高等女学校第23回卒業生
大正3年10月生まれ、平成13年死去

高女時代の志づ子さん(左下)と卒業証書。
昭和7年に卒業、翌年結婚。2人目の子供が良子さん。
「母はやさしく、もの静かでしたが、
内には「淑徳魂」を秘めた人でした。」(良子さん)



娘が生まれたら、是非淑徳に入れたかった

淑徳三代の方は結構いらっしゃるので、四代というのは調べたところ、こちらのご家族だけのようです。

ゆかほさん 卒業生が3万人以上いる中で、とても嬉しく思います。私が高女時代の志づ子さん(左下)と卒業証書。昭和7年に卒業、翌年結婚。2人目の子供が良子さん。母はやさしく、もの静かでしたが、内には「淑徳魂」を秘めた人でした。

良子さん 私も孫が淑徳に入学できましたら、我が家での淑徳四代目と思って、入学できますように祈っていたんです。それが学園での淑徳四

代が我が家族だけとお聞きしてびっくりいたしました。大変光栄に思います。私自身、小学6年生の頃は近くにできた新制中学入行くつもりでしたが、校舎も仮住まいの上、初めて男女共学という環境なので不安に思ったのでしよう、母から急に淑徳を受けなさいと言われて受験しました。そしていい先生、いい友達に恵まれたので、娘にも勧めたのです。

ゆかほさん 私も6年生の冬に急に言われて受験しました。試験は4教科で、面接で、母も祖母も淑徳に通っておりまして、と言ったのを覚えていません。

良子さん 娘のときの受験も難しくなかったので、今はもっと難しくなっているようですね。

ゆかほさん 私の場合、塾に通ったのは3か月ぐらいですが、今はそうはいきませんので、娘は4年生の後期から進学塾に入れました。

真衣さん 受験は考えていなかったのですが、祖母や母から部活が活発で行事がたくさんあって楽しく、すごい学校だと聞いていたので、受けることにしました。

真衣さんの合格を聞いたときは、
良子さん 娘から電話で、お母さん合格通知来たわよ!と聞いたとき



平成9年3月、雛祭りに集うのちの「淑徳四代」。左から志づ子さん、良子さん、2人おいて5歳の真衣さん、ゆかほさん

曾祖母から祖母、母、子と
四世代にわたり
愛知淑徳学園に通うご家族に
お話を伺いました



四代 多賀谷真衣さん
愛知淑徳中学校2年在学中
平成35年5月生まれ

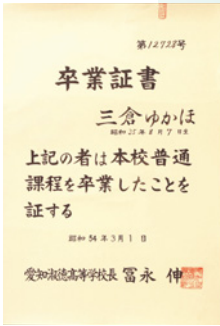


三代 多賀谷ゆかほさん(旧姓三倉)
愛知淑徳高等学校第31回卒業生
昭和35年8月生まれ

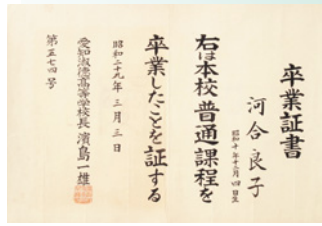


二代 三倉良子さん(旧姓河合)
愛知淑徳高等学校第6回卒業生
昭和10年12月生まれ

昭和54年に高校卒業後、淑徳大学へ進学。卒業後2年ほど家事手伝いをしたのち結婚。右はゆかほさんの高校の卒業証書と、卒業アルバムの中の1枚(上段中央)



昭和29年に卒業後、銀行に就職。34年に結婚退職。翌年ゆかほさんを出産。右は高等学校3年生、デザインが新しくなった制服を着た良子さん



は大喜びし、さっそくお祝いしました。真衣さん 入学が決まって嬉しかったです。聞いていた通りいい学校で、先生がしっかり教えてくださいます。良子さん 今は部活で忙しそうですが、テストのときなど時々メールで「頑張りなさいね」と送ると、「頑張るね」と返ってくるんですよ(笑)。

初代の志づ子さんが愛知淑徳高等学校に入られた経緯は聞いていらしゃいますか。

良子さん 母の時代はまず公立を受け、落ちると私立を受験するというのが普通だったようで、母も県立愛知県立第二高等女学校。昭和23年の学校統合により明和高校)を受けていました。母の叔母たちは県へ進んだので、肩身が狭かったと言っていました。いい学校生活を過ごしたのでしょうかね。母の妹も淑徳で学びましたし、私にも勧めたくらいですから。母も私も池下校舎で学びました。

徳というのは歴史のある学校だなと思います。

制服のデザインは生徒の投票で決定

良子さん 実は今の3本線の制服、私たちが決めたんですよ。それまでは白のお襟でしたが、新しく3種類のデザインの中から選ぶことになって。民主的で生徒が投票したのですが、その頃、小林素三郎先生が東京で3本線の見せ方をいらして、「すてきだからあれに入れなさい」と(笑)。私たちは、線が後ろで切れていて間延びしているから嫌だわ」と話していたのですが、結局私もそれに投票して決まりました。今になると、ほかにはないデザインで、50年以上も続いているというの嬉しいですね。

真衣さん この制服を着ていると、淑徳の生徒だという実感がわきます。

授業や先生の思い出。

良子さん 私は2、3年と進学クラスでしたが、先生方がとても熱心で授業後に補習をしてくださりました。当時は実力考査の結果が廊下に張り出され、成績が上位だとノート等をいただけたので、胸を躍らせながら見た記憶があります。上の学校に進みたかったのですが、父は封建的な人でしたので、女の子には上級の学問はいらないと強く反対され、悩んで先生に相談したことを思い出します。

学部英文学科に進みました。淑徳には10年間、お世話になったことになりました(笑)。

良子さん 2、3年の担任は素三郎先生でした。機知とユーモアに富んだ素晴らしい先生で、娘の結婚式の主賓で挨拶していただきました。

ゆかほさん 私のときには理事長でしたから、お話しする機会がなくて。現理事長の小林素文先生には、大学で英語を教えていただきました。思い出に残っている行事は、高山の林間学校、九州への修学旅行、文化祭ですね。文化祭ではお友達8人と8mm映画を作って上映し、大盛況でした。当時から風紀は厳しかったですね。

良子さん 私たちの頃も厳しかったですね。

ゆかほさん でも親になってみると、子供を入れたい学校になっているんですよ。それだけいい面が多くて、中高という子供が番変わる時期に、先生方の多くが持ち上がりで、長く面倒みていただけます。お友達も校訓の「剛健質実、謙讓優雅、明朗快活」通りの人ばかりで、とてもいい友人関係を築くことができました。

良子さん 私も中高を通していいお友達に恵まれ、未だにおつきあいであります。母も女学校時代のお友達が遊びに来て、亡くなるまで交流が続いていました。

ゆかほさん 娘にもこの淑徳で多くのことを学び、吸収して、生涯の友と呼べる友人を作ってほしいですね。